

7. 福井城跡

所在地：福井市中央1丁目3番地
調査原因：市街地再開発事業
調査期間：令和3年2月8日～3年2月17日
調査主体：福井市教育委員会
調査面積：200 m²
時代：近世

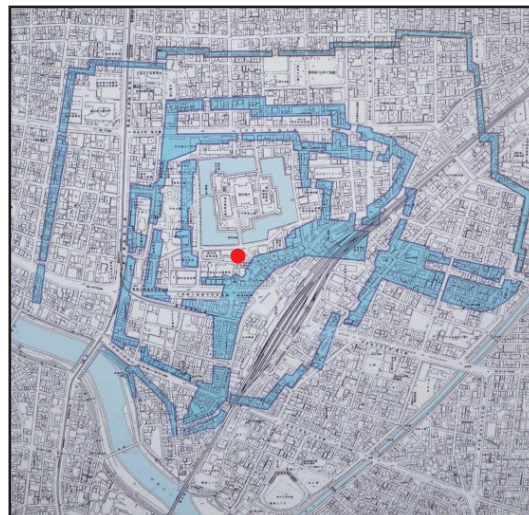
調査の概要 発掘調査は、市街地再開発事業地の南東の一角で建物解体後に実施しました。この場所は福井城内のうち百間堀に面した場所にあたり、堀石垣が出土すると想定できます。これまでに福井県教育庁が「中央大通り」で福井駅西口地下駐車場整備、福井市教育委員会が中央1丁目10番地で民間開発の発掘調査を行い、堀石垣を確認しています。

今回の調査地は両発掘調査地の間にありますが、福井城絵図では、百間堀に面するところは湾曲しており、堀石垣の位置を正確に求めることはできません。そのため、今回の発掘調査では、堀石垣の位置を確認することを目的としました。

遺構 堀石垣や江戸時代の遺構および遺構は確認できませんでした。土層堆積状況では、現地面より0.7m下で近代の整地土、1.9m下で福井城築城に伴う造成土、2.1m下で築城以前の自然堆積土となります。福井城の造成土は約0.2mと薄い堆積であるが、この土層が見つかったことにより、調査地は堀内に該当せず、曲輪内にあたることを確認しました。各層とも堀側(西)に向かうにしたがい下る傾向にあります。

遺物 近代の整地土で、食器の破片や古銭が出土しています。

まとめ 今回の調査地に堀石垣が位置しないことを確認しました。(三澤繁忠)



位置図 (S=1/50,000)



調査地推定位置図



写真1 調査地風景



写真2 調査風景